

# 尿中赤血球形態 鑑別ポイント！

新臨技新潟支部一般検査研究班

小野 篤史

# 尿中赤血球形態

尿中に出現した赤血球は、その形態的特徴から

糸球体型赤血球(変形赤血球)

非糸球体型赤血球(均一赤血球)

に分類することが推奨されています

尿沈渣検査の標準法となるJCCLS GP1-P4では、形態的特徴をわかりやすく表現するために、糸球体型赤血球では3種類、非糸球体型赤血球では4種類の表現名称を表記している

※わかりやすく表現しているだけなので

報告する時は、「糸球体型」or「非糸球体型」でOK

# なぜ、尿中赤血球形態の報告が重要か？

糸球体性血尿では、多彩な形および大きさの尿中赤血球がみられ、  
尿中赤血球形態は血尿の由来を考える情報として重要である

※血尿診断ガイドライン2013 CQ5より抜粋

⇒医師は出血部位を推定するための“1つのツール”として  
尿中赤血球形態を知りたい！

⇒臨床検査技師は正確に鑑別し報告する必要がある

# 非系球体型赤血球(4分類)



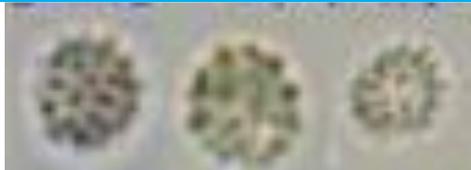
典型・円盤状赤血球



膨化・円盤状赤血球



委縮・円盤状赤血球



委縮・球状赤血球



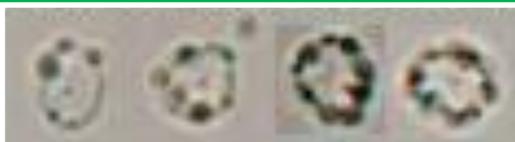
コブ・球状赤血球



円盤・球状移行型赤血球



球状赤血球



膜部顆粒成分凝集状脱ヘモグロビン赤血球

①膜が均一(歪でない)

※膜部～脱Hb赤血球除く

②Hb豊富

※膜部～脱Hb赤血球除く

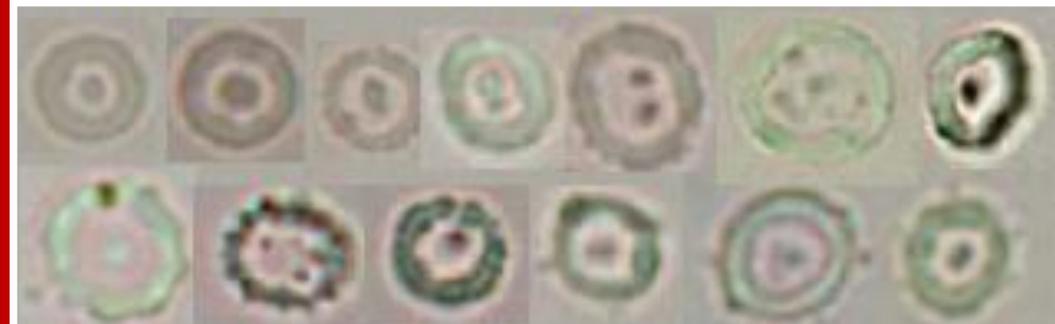
③多彩ではない

標本内で1～2種類程度

# 糸球体型赤血球(3分類)



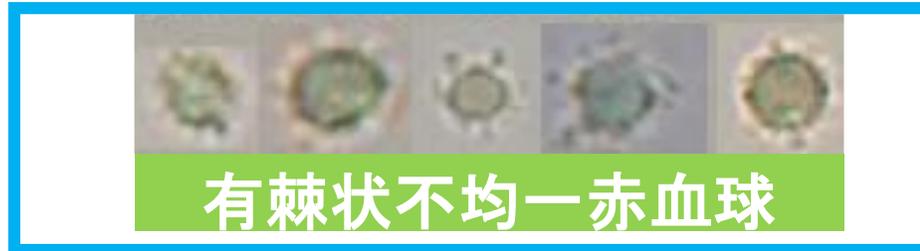
ドーナツ状不均一赤血球



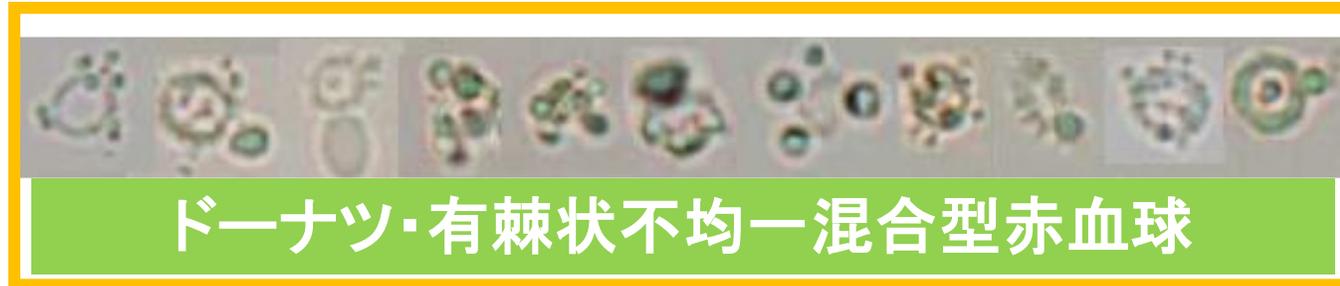
標的・ドーナツ状不均一赤血球



コブ・ドーナツ状不均一赤血球



有棘状不均一赤血球



ドーナツ・有棘状不均一混合型赤血球

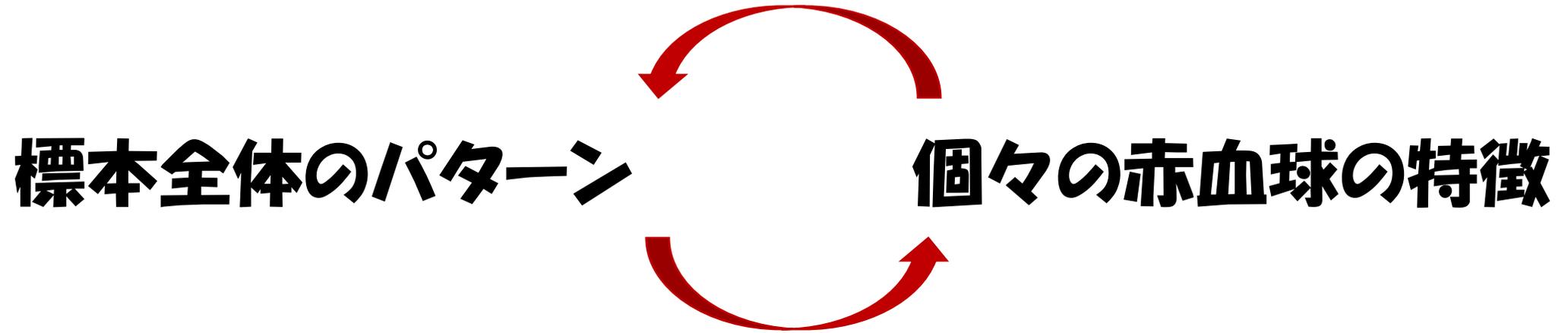
- ①膜が不均一(歪である)
- ②中央部の穴がいびつ, 大きい, 標的状
- ③膜辺縁部外側に棘がある
- ④コブの本体に, 大きい・歪んだ穴がある
- ⑤多彩(色々な種類のものがある)

# 尿中赤血球形態の判定基準

- 光学顕微鏡による無染色観察を前提として、赤血球の形態から判断する
- 400倍1視野に認められる赤血球の中で、糸球体型赤血球と判定できる赤血球が5-9個/HPF以上認められた場合から判定する
- 「糸球体型赤血球・大部分」、「糸球体型赤血球・中等度混在」、「糸球体型赤血球・少数混在」の3段階に分類する。

※報告形式は臨床医とよく相談の上、決定する

# 判定のポイント



**総合的に判定!!!**